

平成23年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成23年5月18日(水) 金沢市役所 第1委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数5名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 尾島 茂樹(金沢大学教授) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士)		
次第	1 開会 2 審議 (1) 報告案件 ア 平成23年度 入札契約制度の改正概要について (2) 審議案件 ア 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等 (ア) 平成22年度 発注工事について (イ) 発注工事に係る平均落札率等について (ウ) 工事成績評定について (エ) 入札参加資格停止等の運用状況について (オ) 談合情報への対応状況について イ 委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等 (ア) 平成22年度 発注業務委託について (イ) 委託業務に係る平均落札率について (ウ) 委託業務成績評定について ウ 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯 エ その他 3 閉会		
審査対象期間	平成23年1月1日～平成23年3月31日		
抽出案件	7件		
工事	制約付き一般競争入札	4件	<ul style="list-style-type: none"> 直江区画整理事業 直江線及び近岡直江線函渠築造工事(交 - 13工区)及びB - 8号路線函渠築造工事(通 - 5工区)並びに(63工区)管渠築造工事 神宮寺3丁目雨水管渠築造工事2工区(補助)及び污水管改良工事2工区(単独)並びに配水管布設替工事(その2) 金沢市立工業高等学校改築工事第4期(建築工事) 平成22年度 城北水質管理センター貯留タンク防食工事
	指名競争入札		該当なし
	随意契約	1件	・ 此花町地内下水道取付管修繕工事
委託	制約付き一般競争入札	1件	・ 大豆田大橋耐震補強設計業務委託
	指名競争入札	1件	・ 木曳野小学校屋内運動場耐震補強工事等実施設計業務委託
	随意契約		該当なし
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問	回答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による報告又は意見の具申	平成22年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。		

総 括

各委員からの意見は、概ね以下のとおりであった。
最低制限価格への一本化など、今年度の入札制度改正の各種効果を注視して、今後の入札制度のあり方を検証すべきである。

なお、意見の詳細は次のとおり。

意 見 ・ 質 問	答 弁
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等</p> <p>価格競争入札は最低制限価格制度に一本化されたということであるが、最低制限価格未満である入札は失格になると考えてよいか。</p> <p>総合評価方式の見直しにおいて、同種工事の実績を「過去15年間(段階的)」とあるが、これはどのような事か。</p> <p>昨年度の総合評価方式の入札において、低入札価格調査は実施したのか。</p>	<p>・最低制限価格未満の場合は失格となる。平成22年度までは予定価格3千万円以上の入札については低入札価格調査制度、3千万円未満を最低制限価格制度としていた。入札制度をより分かりやすくするために平成23年度から通常型価格競争入札は最低制限価格制度、総合評価方式適用工事は低入札価格調査制度を適用することとした。</p> <p>・近年の公共事業の減少により、工事業者が工事実績を保有することが難しくなっている。これにより実績を作るために低価格による入札も考えられるため、このようなことがないよう、工事実績期間を従前の「過去10年間」から「過去15年間」に延伸を図るものである。 「段階的」とは、起算年度を平成10年度とし、実績期間を毎年1年ずつ延ばし、平成25年度で15年間とするものである。</p> <p>・総合評価方式適用工事において低入札調査を実施した例はない。入札額が調査基準価格を下回った場合は施工体制が加点されないことから、評価値が低くなり、落札候補者となりにくいためである。</p>
<p>2 委員があらかじめ抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <p>直江区画整理事業 直江線及び近岡直江線函渠築造工事(交-13工区)及びB-8号路線函渠築造工事(通-5工区)並びに(63工区)管渠築造工事</p> <p>合冊工事として執行した理由は、</p> <p>神宮寺3丁目地内雨水管渠築造工事2工区(補助)及び污水管改良工事2工区(単独)並びに配水管布設替工事(その2)</p> <p>合冊工事となっているが、各工事の管理体制はどうなっているか。</p>	<p>・本工事区域は区画整理事業が始まったところであり、道路幅員が狭いところが多く、搬入路の確保が困難であり、複数業者による同時工事が難しいためである。</p> <p>・工事監督管理については雨水管渠築造及び污水管改良工事は内水整備課、配水管布設替工事は維持管理課が担当しているが、施工管理においては両者が十分に調整し、協力して行っている。検査は企業局の検査員室が一括で行っている。</p>

金沢市立工業高等学校改築工事第4期（建築工事）

総合評価方式適用工事で低入札価格調査を実施するときにはどのような場合か。

- ・入札参加者の全社が調査基準価格を下回った入札であった場合、または参加者の入札額に大きな差があり、調査基準価格を下回った入札者の評価値が調査基準価格以上の入札者の評価値よりも高い場合等で、落札候補者の応札額が低入札調査基準価格を下回っていた場合に実施する。

平成22年度 城北水質管理センター貯留タンク防食工事

入札参加資格審査で失格となっているが、理由は何か。

- ・入札公告の参加資格要件に定める工事実績を有していなかったためである。

此花町地内下水道取付管修繕工事

随意契約理由で「工事の進捗に伴い、下水道取付管が支障となることが判明した。」となっているが配管は図面で管理されていないのか。

- ・ガス、水道、下水道の埋設管路はマッピングシステムで管理しているが、地中における取付管の設置形態までは把握出来ていない。

随意契約先工事である配水管改良工事設計時に、下水道取付管が支障となることが把握出来なかったのか。

- ・マッピングシステムでは道路面から埋設管路までの深さの情報はシステム化されている。しかし、支障となった下水道取付管は様々な形状があることから、事前に把握することが出来なかった。

大豆田大橋耐震補強設計業務委託

落札率が高い原因は何か。

- ・業務委託は予定価格を公表していないこと、また耐震補強業務であるため参加業者が限られていることから落札率が高くなったのではないかと考えている。

木曳野小学校屋内運動場耐震補強工事等実施設計業務委託

落札率が低い原因は何か。

- ・落札者は当該業務の基本設計業務を請け負っており施設の構造等に精通していることから、安価な入札が可能であったのではないかと考えられる。このため落札率が低くなったと考えている。